

2400

## 金工基礎実習 II

2 単位（面接授業 2 単位）

鈴木洋教授、高橋勇一郎講師

## 授業の概要と目標

工芸は、自然から得た素材を主な材料として生活の用具を制作する事である。素材の開発や制作技術の工夫、生活様式の変わり様が工芸の変遷を形成するが、基本的には自然素材に根ざした技術と造形の洗練さにその本質を見ることができる。ここでは伝統的基礎技術を実習することで素材と造形、制作技術と用途など工芸制作の基本に触れ、さらには今日の生活とモノの在り方について考察する。

この科目では、ガラスが金属に焼き付くと言う特性を理解し、七宝技法のひとつである、有線七宝を学んでいく。これにより、基礎知識、技法の習得、色彩造形を体験し、探求することを目的とする。

## 課題の概要

## ○面接授業課題

有線七宝による平面作品の制作

## 授業計画

## [面接授業]

ガイダンス、技法について

エスキースチェック、素地作り、下地焼成

銀線植線→焼成

釉薬施釉→焼成（3回）

研磨

仕上げ

## 成績評価の方法

面接授業の最終日に提出された図面や作品で評価し、授業態度等を加味する。

## 履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4年次

[履修条件] なし

[備 考] 履修年次は問わない。

・受講人数を制限する場合がある。

・工芸工業デザイン学科生活環境デザインコースへの進学希望者は、素材別基礎実習 I・II の科目の他、「工芸 I・II」の履修を勧める。

## 教材等

参考資料：横溝健志 監修『工芸』（武蔵野美術大学出版局 2002年）